



ひがしの子

入園・進級して1か月が経ちました！

今年度の新入園児はこあら組の14名だけで、他の学年はいませんでした。14名のこあら組さんは、思ったより早く幼稚園に慣れていったように思います。今では、思い思いに自分のやりたいことを楽しむ様子も見られます。でも、日によってはおうちの方と離れにくかったり、「ママがいい。」と涙が出たりすることもあります。それは、当然の姿だと思っています。

3歳児は、集団生活をするのが初めてという子どもがほとんどのため、自由でマイペースな姿や、自分の思いをうまく伝えられずに手が出てしまう姿などがあります。これまでは、家庭という守られた場所での生活から、集団生活という社会に出て、「何でも自分のものはすなのに…」、「もっと遊びたいのに、なんでやめなくちゃいけないの？」などという、子どもなりの「こんなはずじゃなかった。」場面での葛藤がいくつかあるのでしょうか。どれも3歳児の素直な子どもの姿だと思っています。一人一人の発達やペースが大きく異なる年齢でもあります。楽しい関わりも、ネガティブな関わりも、子どもにとっては両方必要な経験です。家庭では経験できない周りの子どもとの出会いの中で、一つ一つを大切な学びの機会としていきたいと考えております。自分の思いを表現できるお子さんは、少しずつ自分とは異なった思いをもつ相手の存在に気付いて、関わり方を知ることが大切です。「困ったなあ。」「いやだなあ…」と思うことを伝えにくいお子さんは、少しずつ大人に表現できるように、教師との信頼関係を基盤に力を付けていくことが必要です。

教師が十分に対応できていない場面もあり、保護者の方にご心配をおかけすることもあると思います。どうぞ、お気軽に担任や主任、教頭、園長などにご相談ください。

(今年度も、3歳児補助の先生は勤務がシフト制となっています。4月中は、2人の補助の先生と一緒にクラスに入ってくださいでしたが、4月末の弁当の日からは、2時間と3時間のシフト交代制となりますことをご了承ください。)



4歳児なつめ組、5歳児たいよう組の子ども達は、担任も保育室もかわりましたが、どの子どもも落ち着いて生活しているように思います。「だってたいようさんやもん。」「なつめさんになったで。」などという言葉からも1つ大きくなった喜びを感じていることが伝わります。園庭や保育室で、今までの経験を活かして、毎日元気に遊んでいます。

今年度は、朝、東門から登園してくれるお子さんが増えました。こあら組さんの中には、家から歩いて登園しているお子さんも何名かいます。駐車場から、おうちの方と手をつないで、交通ルールを守りながら歩いてくるお子さんの姿に嬉しく思います。歩くことで用水の水の量や流れの速さ、時には落ちているもの等、いろんなことに気付いています。昨年度は、恥ずかしがっていたお子さんが、元気に「おはよう！」と言ってくれることもとても嬉しいです。お子さんの気づきやつぶやきにも、寄り添ってくださりありがとうございます。お時間や心に余裕があるときは、お子さんと一緒に歩いて東門から登園して下さることもしてみてくださいね。

今回はそんな子どもたちの姿を少しお知らせします。

こあら組さんは、保育室の前あたりで、砂や水を使って思い思いに遊んでいます。Aちゃんが、自分で

作った色水の量を増やそうと、計量カップを使って水を一生懸命ペットボトルに入れていました。ペットボトルの口は小さく、なかなかうまく入りません。「あれ？」とつぶやきながらも、何度も繰り返していました。

そのうち、計量カップの先を、うまくペットボトルの口に合わせられるようになっていき、最終的に満足いく量を入れることができました。途中で、道具を変えることも思いついたAちゃん。ザルを使おうとして、ますます水が汲めないことがわかり、「あれ？」といいながら計量カップへと戻っていききました。自分で“こうしたい”という思いをもって、繰り返し取り組む姿に感心しました。「あれ？」とうまくいかないことも経験しながら、道具も変えてみ



ようとしながら、目的を達成しようとしていることにもたくましさを感じました。

なつめさんは、園生活2年目。昨年度の経験を活かして遊んでいます。この写真はある日の砂場の様子です。トンネルをつなげたい！という思いや目的をもって遊んでいます。どうしたらうまくいくか・・・子どもたちの知恵や力だけではうまくいかないこともたくさんあります。そんな時に、教師が思いを聞きながら、一緒に考えていきます。“自分たちでできた！”という思いがもてるように、状況に合わせて援助しています。鬼ごっこも、担任と一緒に思いっきり走っています。

このように、日常の中で“おもしろそう”“どうかな？”“やってみたい”等と、心を動かして遊ぶことをこれからもたくさん経験してほしいと思います。

たいよう組さんは、こあら組さんの歓迎会を計画していました。これも、教師が「こうしよう。」と提案してしまうのではなく、子どもたちがこあら組さんのことを考えて、“どうしたら楽しくくれるか、喜んでくれるか”を自分たちで考え、話し合っていました。今年度は「宝さがし」をすることに・・・。前日も、自分たちだけでリハーサルもしていました。

さて、当日です。残念ながらたいよう組さんは、体調不良で数名欠席でしたが、皆で協力していました。歌や踊りを披露した後、いよいよ宝探しです。そこも、ファミリーのグループで別れてこあら組さんを優しく連れて行ってあげていました。自分がとってしまうのではなく、ちゃんとこあら組さんが自分でとれるようにしてくれる姿に年長さんらしいなあと感心しました。

宝を見つけることができて、こあら組さんは大喜びでした。この様子は来週のHP もご覧ください。



5月の保育のねらい

【3歳児】

- 先生と一緒にいろいろな場所や遊びに興味関心をもつ。
- 幼稚園生活のリズムが少しずつ分かり、先生と一緒に身の回りのことをしようとする。

【4歳児】

- 先生や友達と一緒に生活する中で、自分の身の回りのことを自分で行う。
- いろいろな遊びに関心をもち、友達や先生と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

【5歳児】

- 年長児としての自覚をもち、自分たちの生活に楽しんで取り組む。
- 友達と誘い合って、戸外で思い切り体を動かすことを楽しむ。

